

# 川上村ものがたり

～不利な条件を逆手にとった地域づくり～

長野県川上村保健福祉課長 小林仁史

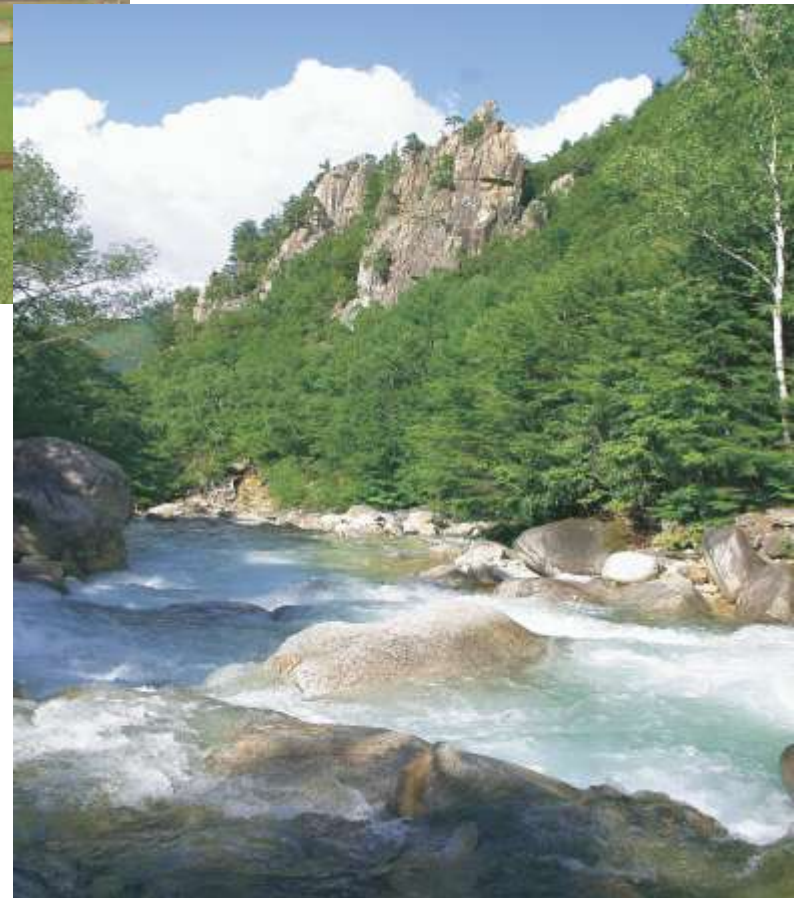
# 川上村ってどこにあるの？





山女がひそむ千曲川源流

八ヶ岳連峰の裾野に広がる野菜畑



# 川上村の 4つの誇り



# 地域産業力



- レタスの出荷量 **62,604t**  
(全国1位)
- 農業就業人口割合 **38.2%**  
(全人口のうち農業に従事している人)
- 農業後継者平均年齢**30歳**
- 農家率 **50.2%**
- 耕作放棄地 **皆無**  
(H22農業センサス)

# 老人力



• **健康老人率** 85.1%

(65歳から74歳は 96.7%)

日本一

• **高齢者就業率** 50.3%

(65歳以上で就業している人の割合)

# 労働力



- **地域内就業率** 93.7%  
(村民で川上村で就業している人の割合)
- **自宅就業率** 72.8%  
(自宅が仕事場の人の割合)
- **女性就業率** 63.3%  
(15歳以上の女性で就業している人の割合)
- **完全失業率** 1.5% (県下最低)  
(H22国勢調査)
- **外国人実習生** 800名以上(国保加入)

# 健康力



- 国保一人当り年間医療費  
170,731円(H24) 長野県下最低
- 国保加入率 62.4%(H24)
- 一人当り国保税額 104,678円(H23)
- ★医療費と国保税額との差額 66,053円
- 後期高齢者一人当り年間医療費  
679,912円(H24)



# 川上村の厳しい現状(宿命)

佐久総合病院まで75分  
長野県庁まで120分  
**陸の孤島＝離島**  
**自己完結の村**

作物生育条件が**過酷**

とても**寒く**、水が**冷たい**

米作の限界地      米の**高限**

年間平均気温      **7.5°**

冬の最低気温      **-25°**

降霜の無い月      **7・8月**

# 戦前の川上村

「ここから更に千曲川の上流に當って、川上の八ヶ村といふがある。その邊は信州の中でも最も不便な、白米は唯病人に頂かせるほどの、貧しい、荒れた山奥の一つであるといふ。」

(大正元年 島崎藤村;千曲川のスケッチより)

村民の暮らし …… 極貧

わずかに収穫される米…… 村民の二月分のみ

現金収入 …… 収量の少ない養蚕と仔馬の生産

出稼ぎの村

# 森林資源で村を興そう

○昭和10年 小海線が開通・・・一大転機到来



搬出可能になった豊富な森林資源

「森林資源を生かした村づくり」を目指す

村外の大資本が材木工場を稼働

カラマツは都市建設の土木用材に



大森林がはげ山に・・・他力本願のつけ

教訓：**地域を興すには自らの手で**



金峰橋 この吊橋を渡る軌道によって梓久保地帯500余町歩の山林から木材がトロッコで御所平まで運ばれた

金峰吊橋  
犬がトロツコを引いて梓久保  
に向う



# 逆転の発想

過酷な作物生育条件を  
有利な条件へ



過酷な気象条件を逆手に取った  
「夏出し野菜」にたどり着く

# 野菜王国への歩み

- 白菜・レタスの旬は？ 秋と冬
- 高温多湿な日本の夏 野菜が出来ない
- 試行錯誤の中、白菜を試作
- 氷詰めして貨車で出荷・・・腐って全滅
- きっかけは朝鮮戦争
- 駐留米軍がレタスの栽培適地を探していた
- トラクター・肥料・種子・栽培技術・輸送・消費
- すべて米軍が供与 軍需産業

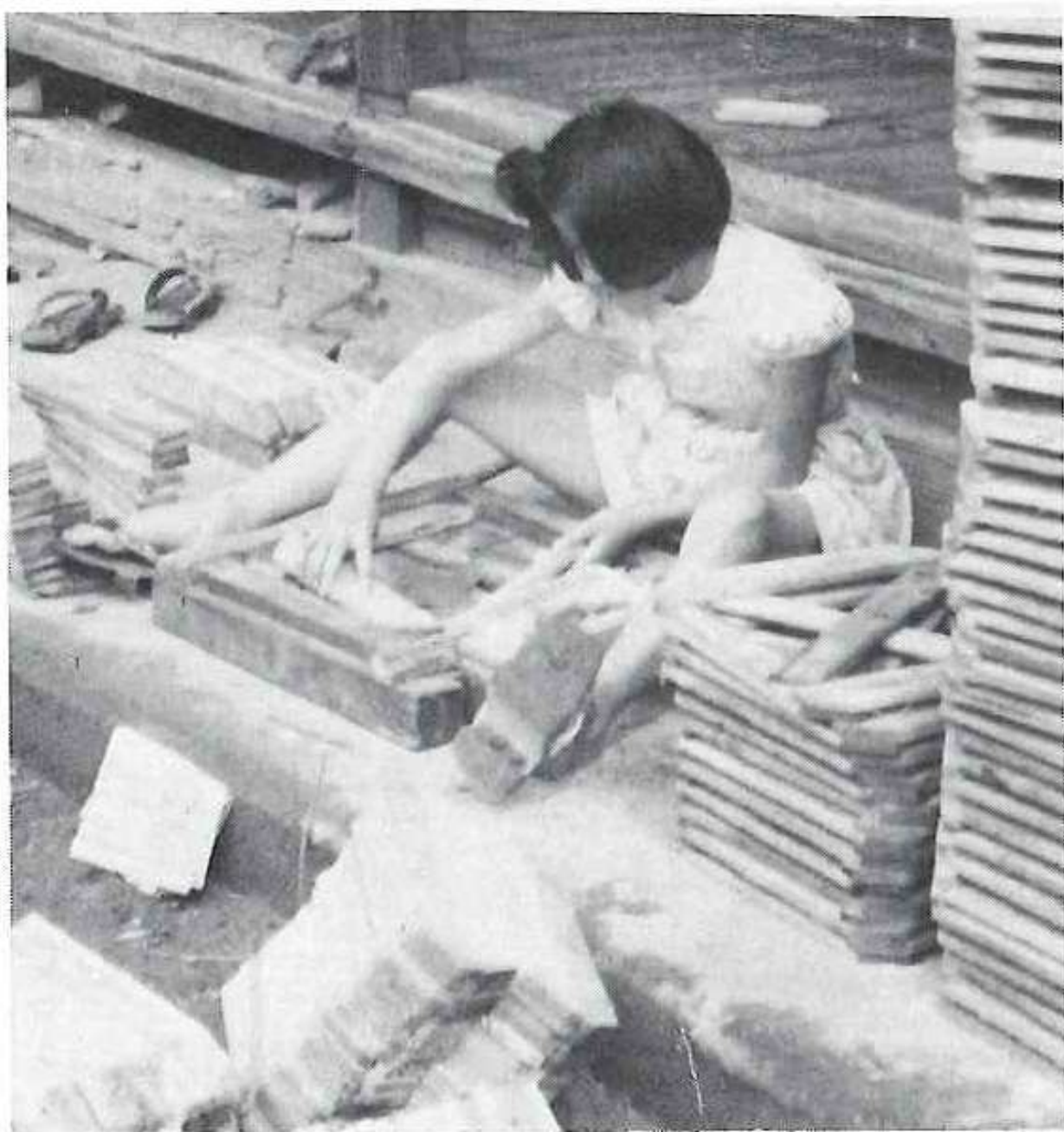
# 規模を拡大 一大産地へ

- 広大な採草原野を各集落が管理
- 国の補助事業を導入して1500haを開墾
- 全戸に平等に配分
- 全戸が土地持ち農家に
- 一戸平均耕作面積 … 2.5ヘクタール
- S48朝日農業賞受賞(専業農家が増えた村)
- 村・農家・農協 三者が同じ目標に邁進
- 平均年収 2500万円
- 3か月で1年分働く … 4倍の過重労働





白菜の出荷 木箱詰め



子供も夏休みはもっぱら木箱の箱打ち



# 収入2500万円の内訳

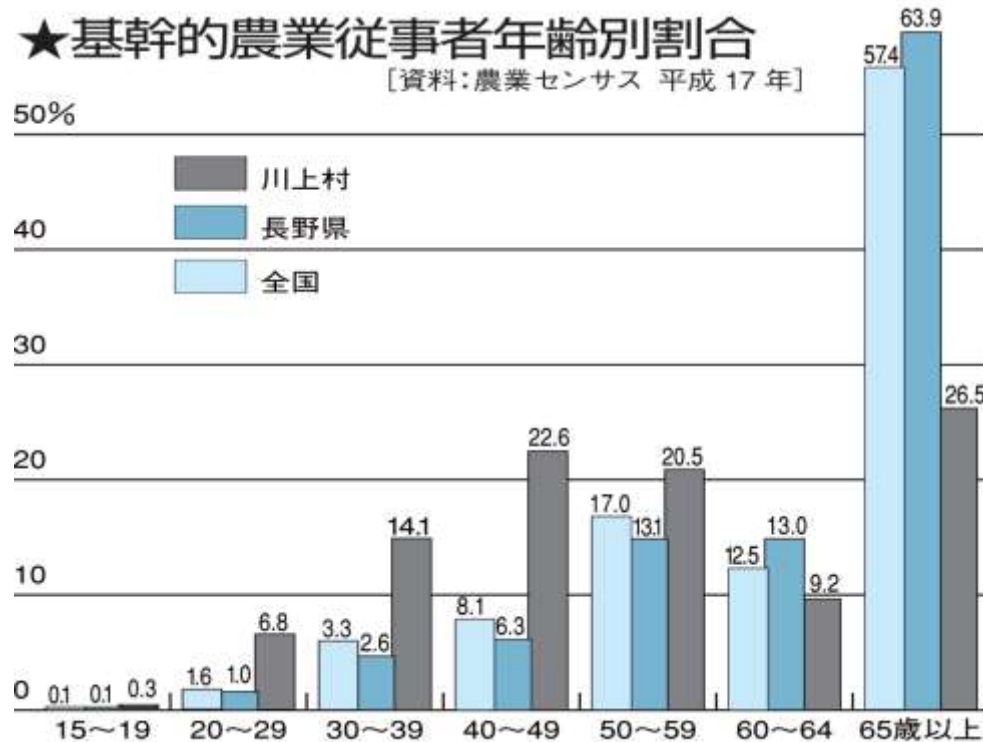
- レタス 20,000ケース 出荷1箱 1,250円
- 7月1日から10月8日の100日出荷
- 4ha作付 一日当たり200ケース出荷

## 1箱1,250円の内訳

- 出荷手数料(運賃、市場・JA手数料)400円
  - 出荷経費(段ボール、農薬、肥料)350円
  - 農家手取りは1箱500円 所得1,000万円
- ここから人件費、その他資材を引くと・・・

# 農業で生きる 明確な目標

★基幹的農業従事者年齢別割合  
[資料:農業センサス 平成 17 年]



- ・ 健康老人が多い
- ・ 3世代で農業経営
- ・ 新規就農者は15名から20名
- ・ 農業後継者の平均年齢は30歳
- ・ 農業後継者が定着

人間の満足度=欲望/所得(永遠に割り切れない)  
経済の豊かさで人は幸せになれない

# 農業立村から精神立村へ

## ○総合満足度の高い村へ

- 情報化対策（高度情報化戦略）
- 公共交通の確保（村営バス黒字経営）
- 交流の促進（婦人・後継者海外研修制度）
- 高齢者対策（ヘルシーパーク構想）
- 24時間図書館・ふるさと村塾

## ○村の目指すところ

- 人材育成 郷育の推進
- 三風原則（風味）（風習）（風土）

# ヘルシーパーク構想

○ 村は屋根のない病院

☆ 一人の命を維持していく要素

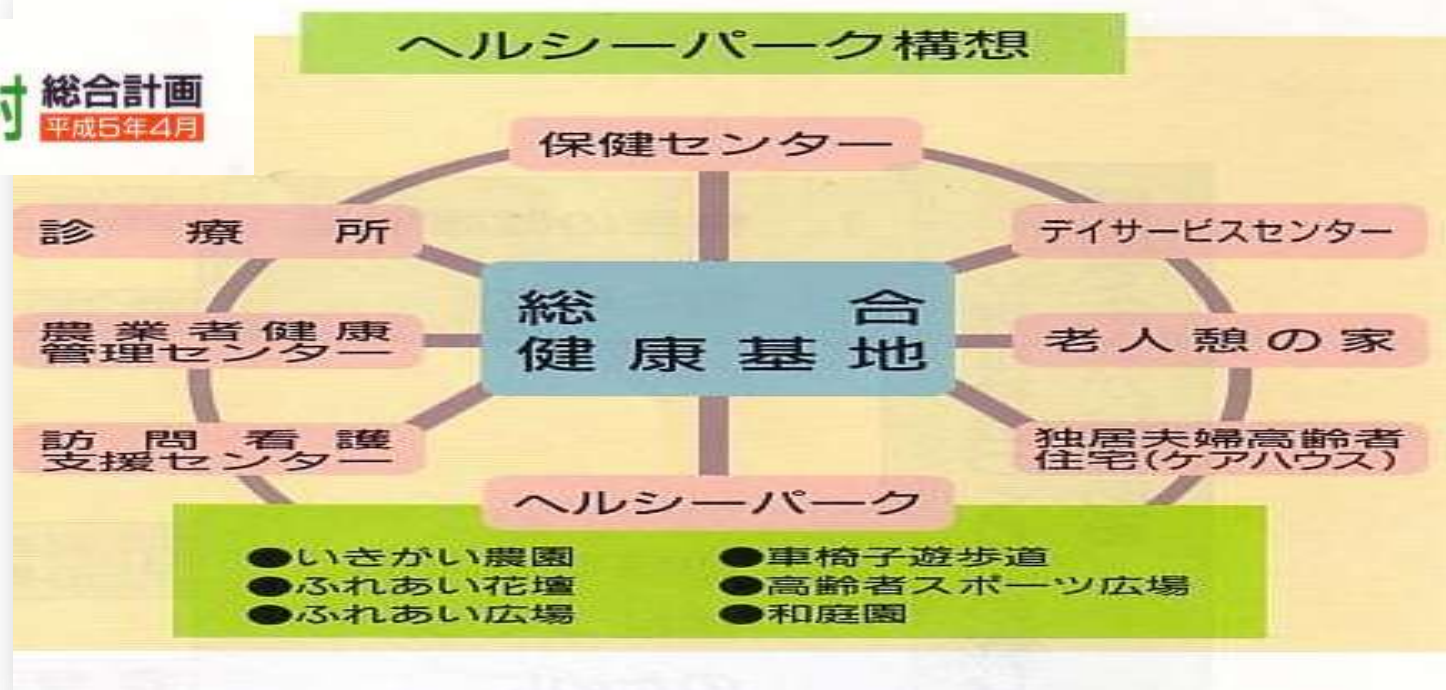
高度医療

自然環境

人間関係

○ 保健・福祉・医療・介護の一体化・一元化

第3次 川上村 総合計画  
平成5年4月



# 平成10年 ヘルシーパーク整備

## 医療

川上村診療所  
訪問看護ST

## 保健予防

保健福祉課  
保健係・福祉係

## 介護予防

包括支援センター  
生きがいサロン

## 在宅介護

社会福祉協議会  
デイ・ヘルパー  
居宅・宅老所



# 構想から20年・・・今の姿

◎ヘルシーパーク構想が現実

●連絡会議を毎日開催

医師・看護師・ケアマネ・ヘルパー・デイサービス介護員・宅老所介護員・保健師・包括支援職員による情報共有

連携を目的としたものではない。

自己完結を宿命とした村が必要としたこと

つまり必然

川上村型地域包括ケアかも

# 健康寿命から満足寿命へ

## ヘルシーパーク構想を再認識

理念 一人の患者・利用者をヘルシーパーク全体で支える

### ■生涯現役の健康づくり

- ・農業の安定でいつまでも現役(三世代農業)
- ・佐久総合病院と共同で村民皆健診事業
- ・長生き健康感謝祭～満足長寿をめざして～の開催

### ○健康老人率＝介護非認定率

平成22年度健康老人率 85.1%(1017/1196) 認定者179人  
(うち65歳から74歳) 96.7%(462/478) 認定者16人

### ○県下一低い医療費

平成22年度一人当たり医療費 193,788円(170,731円/H24)

## ■ 看取り率の向上

- ・365日24時間対応の訪問看護ステーション
- ・在宅支援診療所認定。訪問診療で在宅療養を支援

## ○看取り率

- ・平成25年にお亡くなりになった方            28名
  - うちご家族と訪看で看取った方            18名
- 看取り率は64.3パーセント

## ○後期高齢者医療費のうち訪問看護利用費

- ・川上村11,769円(長野県1位)2位は小海町7,570円

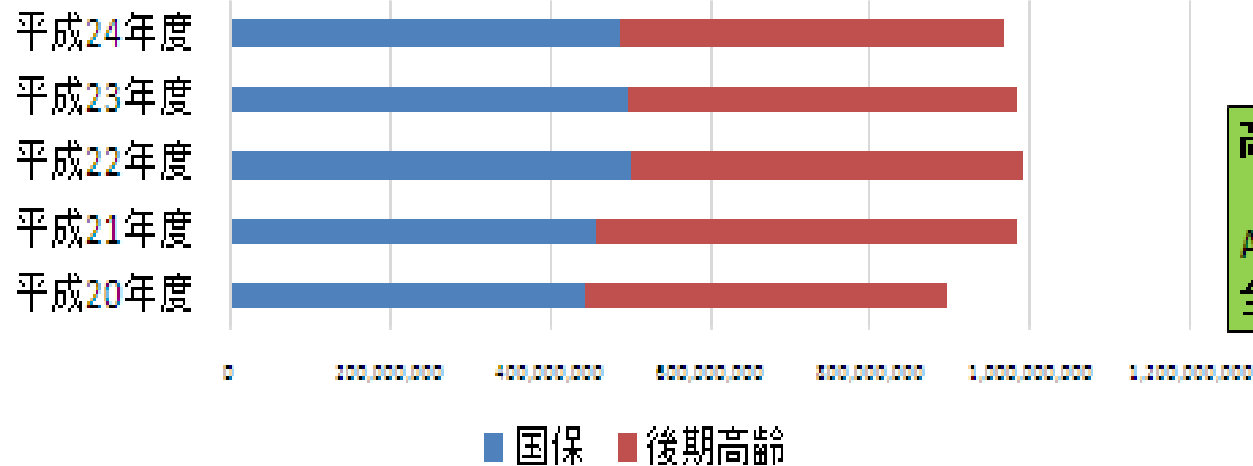
## ○遺族カンファレンス (医師、看護師、ケアマネ)

## ■ 唯一の福祉事業者による利用者本位の福祉サービス

- ・地域包括支援センターと直結した介護計画
- ・充実した介護予防事業で介護認定者抑制

## 医療費総額の推移

平成20年度より後期高齢者医療制度スタート



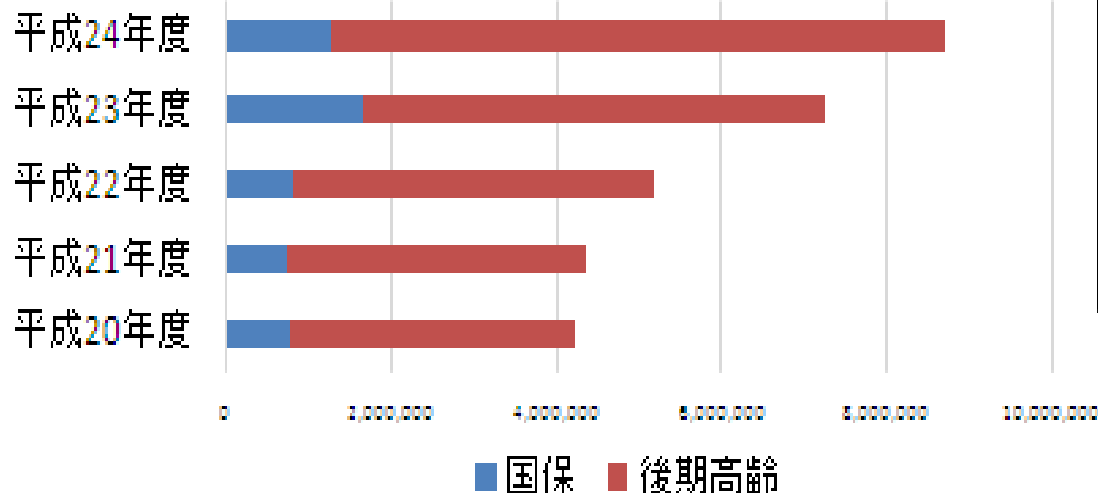
### 高齢化率の推移

平成12年→22年→24年

A村: 23.7%→23.0%→28.3%

全国: 17.3%→23.0%→24.1%

## 訪問看護に関する医療費総額



医療費総額: 8.9~9.9億円の間を増減  
(横ばい)

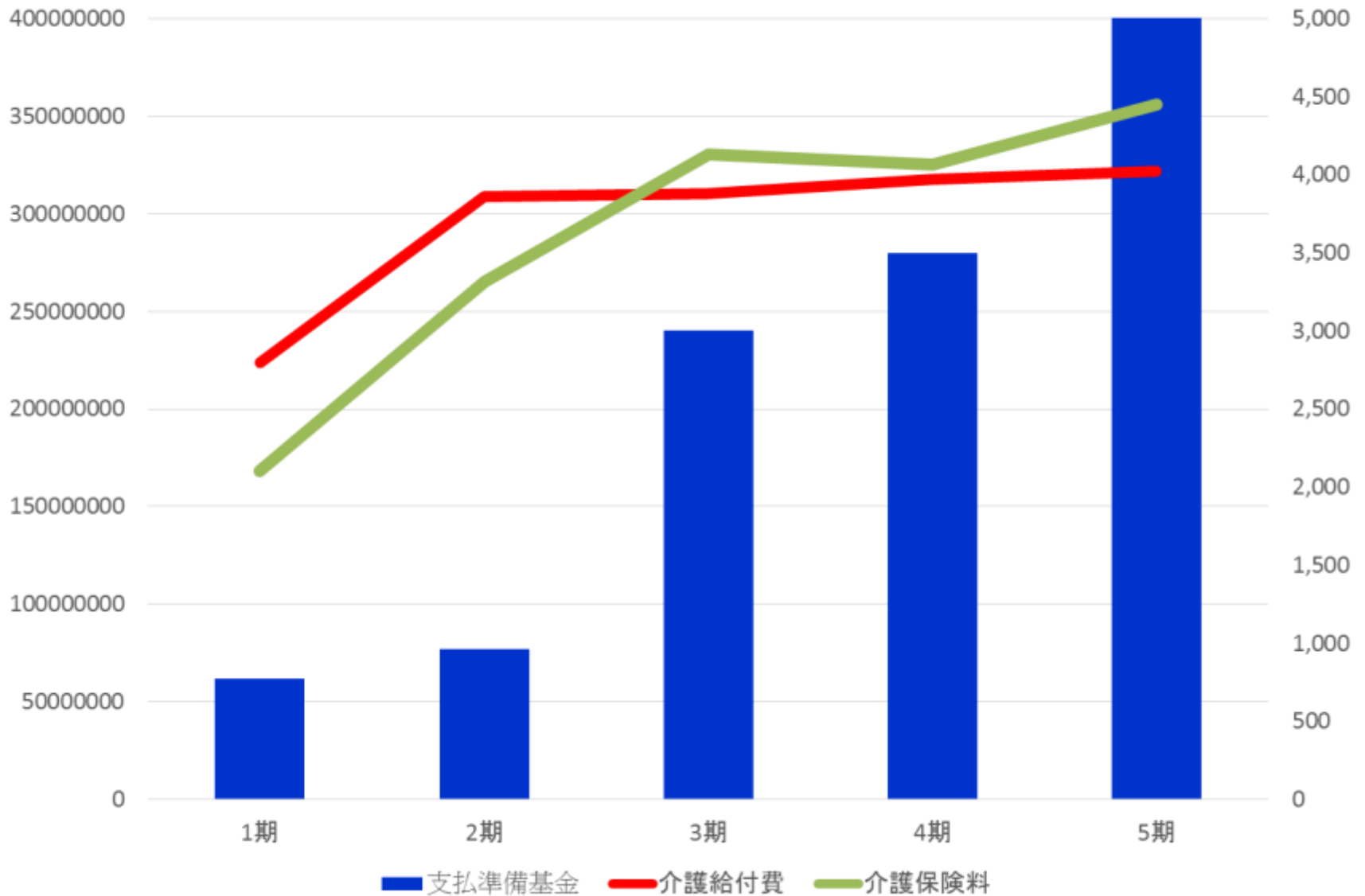
後期高齢者医療総額: 5億前後

訪問看護の医療費総額: 増加

⇒医療保険による訪問看護利用者数・訪問回数が増加している

⇒高齢化率は増加しているものの医療費総額はそれほど増加しているとは言えない

# 変わらない介護給付費



# 第6期介護保険事業計画

## □介護保険料を引き下げた

- 第5期 4,450円
- 第6期 4,333円 マイナス117円

## □県内唯一引き下げ

保険料は県下最低レベル

県平均 5,399円 最高額 6,300円

## □計画の基本理念は在宅介護と介護予防

## □新しい介護予防の仕組みづくり

# 介護保険の現状と課題

## ■ 介護認定者は201人

要支援①18人②20人

要介護①44人②41人③29人④26人⑤23人

軽度の率が高い

## ■ 農繁期老健入所(ショート)利用の増加

特養利用者現在34人

夏季農繁期入所者40人(前年度から倍増)

長期入所を辞退せざるを得ない

## ■ 施設介護に頼らない在宅介護が急務

# 増え続ける独居と認知症

□一人暮らし高齢者世帯	124人
• うち村内に身寄りがいない	72人
• 介護認定を受けている	14人
□高齢者夫婦世帯	120世帯
□介護認定者数	206人
うち認知症	175人(85%)

認定されていない軽度の認知症の方は・・・

認知症は改善される？



# 低下する介護力にどう対応するか

## ■ 介護力の低下 家庭も地域も

- 過酷な夏季労働と敷地内別居
- すすむ施設への依存

## ■ 介護保険制度の法改正

- 介護保険の危機

## ■ 在宅介護を維持できるか

- お泊りデイサービスで介護力抑制？
- 一週間を2泊3日、家庭1泊、2泊3日、家庭2泊

# 川上村 在宅療養の為の福祉・介護・医療連携システム実証実験

**●包括支援センター**

- ・連携システムの統括
- ・介護予防ケアプランの作成
- ・新規利用者等の情報提供
- ・問題発生時の対応

常に全てのサービス状態を把握し、的確な指示が出せる

**川上村地域ケア会議連絡会**

- ・毎日午後4時30分から開催
- ・利用者の情報共有・伝達・計画変更等の検討

指示 報告

**●川上村診療所長**

- ・各セクションの状況を見て方針を決定
- ・過去データ（バイタルチェック、顔写真、外傷等写真）を診察に利用
- ・連絡会議への伝達事項

介護・訪看・往診等の直近の対応内容をもとに、より最適な診察に生かせる。

**●訪問介護（ヘルパー）**  
【週6日/日3回利用】

- ・訪問、退去時刻管理（スマートホン）
- ・介護内容記録
- ・顔写真撮影、介護者の様子撮影
- ・生活の様子撮影
- ・外傷等気になる点を撮影
- ・利用者の様子コメント
- ・利用者の声記録
- ・ヘルパーへの伝達事項
- ・連絡会議への伝達事項

利用者のご家族と簡単にコミュニケーションができる。

**●訪問看護**  
【週1日利用】

- ・訪問、退去時刻管理（スマートホン）
- ・看護内容記録
- ・介護者の観察
- ・バイタルサイン記録
- ・外傷等気になる点を撮影
- ・利用者の様子コメント
- ・看護、医師への伝達事項
- ・連絡会議への伝達事項
- ・ご家族への連絡事項
- ・心身の変化

介護等の所見をもとに、怪我や病気などの早期発見に役立つ。

**●訪問診療**  
**（在宅療養支援診療所取得済）**  
【月1日利用、緊急時対応（スマートホン）】

- ・訪問、退去時刻管理
- ・診察内容記録
- ・バイタルサイン記録
- ・皮膚の状態等気になる点を撮影
- ・利用者の様子コメント
- ・看護、医師への伝達事項
- ・連絡会議への伝達事項

診察だけでは普段気付かないことも介護の記録等で気付ける。また、外傷等を写真で確認できる。

**●デイサービス/宅老所**  
【週2日利用】

- ・サービス利用時刻管理
- ・サービス内容記録
- ・バイタルサイン記録
- ・利用者の様子コメント
- ・デイ担当者への伝達事項
- ・連絡会議への伝達事項
- ・ご家族への連絡事項

予め気をつける事を把握し、注意しながらサービス対応ができる。

**●ケアマネージャー**

- ・利用者のケアプラン検討、作成
- ・各サービスの対応内容把握
- ・連絡会議への伝達事項
- ・ご家族への連絡事項

各サービスの対応内容、利用者の様子を確認し、より最適なケアプランが作成できる。



**見守り**

離れた場所から記録や写真が確認でき、効率的な見守りができる。またスタッフや利用者家族同士と簡単にコミュニケーションができる。

**在宅介護利用者**  
(iフレージ)

- 年齢 92歳
- 介護度 5(二人暮らし、妻87歳)
- 介護保険外利用サービス
- ・軽度生活支援サービス
- ・配食サービス

**御馳走サービス**

- ・健康メニューの中から希望の料理を選び、食材を商店が用意し、ヘルパーが調理。
- ・食事履歴を栄養士が管理し、健康管理に活用できる【協力】川上村食生活改善協議会・川上村商工会商業部/7店舗

農繁期5月から10月/月10日利用

**●主介護者（妻 87歳/同居）**  
**●副介護者（長女 62歳/南牧村）**  
**●ご子息（長男・次男/東京都在住）**

- ・日々の情報交換
- ・利用者家族同士の情報共有
- ・離れて暮らすご子息等による親の見守り

離れた場所から記録や写真が確認でき、効率的な見守りができる。またスタッフや利用者家族同士と簡単にコミュニケーションができる。

**福祉・介護・医療連携システム**

- ・全ての関係者間で状況把握やコミュニケーションが密にできる
- ・業務間連携を密にしたより良い介護サービスの提供ができる
- ・業務効率化、各種データの蓄積及び有効利用により福祉/介護/医療の質の向上につながる

**●ショートステイ施設**  
【特養のべやま/老健こうみ】

- ・川上村での生活の様子を把握
- ・施設での様子を連絡

川上村でのサービス内容や対応履歴等が確認できるため、予め気をつける事が把握できる。また、ショートステイ施設での様子を連絡会に簡単に伝えることができる。

**●地域医療（小海分院を核とした医療連携）**

# 新しい介護予防のかたちづくり

## ■今までの介護予防事業

- ・老人憩いの家(入浴施設)
- ・お達者リハビリ(3か月で10回 2クール)
- ・生きがいデイサービス(週1回)
- ・地域活動支援センター(障がいをもつ人達)

## ■すべてを一つにした 生きがいサロン(仮称) の立ち上げ

- ・社協委託から村直営に
- ・意欲をもち・目標を定め・自ら行う

# 本来のバリアフリーは可能か？

## ■ 法や制度で利用者を区別している

- ・介護認定者・・・デイサービス
- ・認知症・・・・・・・・宅老所
- ・障害者・・・地域活動支援S、B型作業所など
- ・介護支援予備軍・・・生きがい

## ■ 誰もがいつでも集える自分の居場所を

- ・介護サービス・介護予防サービスそして障がい者サービスをひとつに

究極の自己完結型福祉サービスを